

第348号 平成27年9月

東京都農業会議情報

編集及び発行 東京都農業会議

立川市柴崎町3-5-24
TEL 042-525-0780

改正農業委員会法および改正農地法が成立・公布

農業委員会法と農地法の一部改正法が、8月28日に成立し、9月4日に公布され、9月18日には政省令(案)が公表されました。

衆参農林水産委員会では、16項目におよぶ付帯決議がされました。農業委員会関係の決議は左記のとおりです。

- ① 農業委員の任命および推進委員の委嘱にあつての適正な手続きによる公平な実施。
- ② 農業委員や推進委員の業務に見合う適正な報酬および研修機会の確保や事務局の体制整備のための予算の確保。
- ③ 農地利用・集積の加速化および耕作放棄地対策の推進。
- ④ 農業委員会およびネットワーク機構から行政機関に提出する意見に幅広く現場の声を反映すること。
- ⑤ 農地法の改正について

改正農地法が成立・公布

は、農地転用許可制度の基本的な考え方に鑑み、30アール以下の農地についても、ネットワーク機構の意見聴取をできるよう周知を図ること。

⑥ 農業生産法人制度の構成要件の緩和に伴い、農地が農外資本に支配されることがないように、制度を適切に運用すること。

平成26年度事業報告および歳入・歳出決算を承認 東京都農業政策に関する建議など決定

第45回東京都農業経営者クラブ通常総会

都農業会議は8月18日、武蔵野スイングホールにおいて、議員45人の出席を得て、第117回通常総会を開きました。

議事では、都農業会議6号議員の辞任および選任の承認、平成26年度事業報告および同歳入・歳出決算の承認、平成27年度歳入・歳出予算の

島しょ農業の活性化に関する要望など決議 あきる野市の新規就農者の支援策など研究

第28回島しょ農業委員・農業者大会

9月2日から3日にかけて第28回島しょ農業委員・農業者大会が開催され、各島の農業委員や農業者ら36人が参加しました。

1日目は武蔵野市の武蔵野



挨拶を述べる島しょ農業委員会協議会の沖山慶孝会長(左)

スイングホールにおいて協議などが行われ、「島しょ農業委員会活動の積極的推進に関する決議」と「生き活きとした島しょ農業を実現するための施策に関する要望」が決議されました。

また、農業を巡る動向と農業委員会法改正への対応に関する研修が行われたほか、各島の農業振興と農業委員会活動をテーマに活発に意見交換が行われました。

2日目はあきる野市において現地研修を行いました。ファーマーズセンターで同市の担当者から新規就農者の支援策について話を聞いた後、実際に農地を借りて就農した若手農業者の圃場を見学しました。



あきる野市で新規就農した工藤健一さん(左)

建議の実現を東京都に要望

東京都農業会議

都農業会議はこのほど、東京都に対する建議を行いました。

「東京都農業政策に関する建議」は、8月に開催した第117回通常総会で決定したものです。

都農業会議の青山会長から建議書を受け取った寺崎都農林水産部長は、「意欲ある農家を支援するため事業を充実させたい」と話しました。

また、あわせて地域代表の区市町村農業委員会長と都農林水産部幹部との意見交換が行われ、幅広い課題について意見が交わされました。



建議書を手渡す青山会長(中央)、須藤副会長(右から2人目)、吉川副会長(右)と寺崎都部長(左から2人目)、武田都部長(左)

東京都農業政策に関する建議要旨

8月18日開催の第117回

東京都農業会議通常総会で決定された「東京都農業政策に関する建議」担い手の確保と農業経営の確立に向けた支援の強化を」の要旨は左記のとおりです。

1. 農業後継者の確保対策の確立

農業後継者が安心して就業し新たな農業に意欲的に取り組むために都独自の「農業後継者育成給付金事業」(仮称)を創設すること。

2. 都市農業の振興に関する計画の策定

都市農業振興基本法が施行されたことを受け、農業振興の基本方針や都市農地の保全の方策を定めた地域計画を策定すること。

3. 生産緑地買い取りのための基金の創設

区市町村が買い取り申し出がされた生産緑地を取得する際に活用できる安定的な財源として「都市農地保全基金」(仮称)を創設すること。

4. 学校給食に地元産農産物を供給する体制作りへの支援

地域内にある複数の学校に

地元産の農産物を安定して納入するためには、集荷と配達を効率的に行う体制が必要であることから、出荷組織等が集出荷体制を構築するために必要な車両や設備等の導入を支援する事業を創設すること。

5. 島しょ地域における農産物出荷体制の再構築への支援

島しょ地域においては、農産物の出荷体制を再構築する必要のある町村の農業者組織や自治体に対し、各島ごとに異なる課題を踏まえ、関係組織・団体と連携して積極的に支援を行うこと。

6. 補助事業の拡充と要件等の見直し

東京農業においては個々の農家ごとに規模も作目も異なる多様な展開をはかっていることが特徴である。そうした個別経営体の幅広い取組を後押しできるよう、補助事業については農業機械の導入を含め対象事業や要件を拡充すること。また、経営改善に効果がある判断される場合には、農家が持つ既存の施設の

改良も対象とすること。
7. 穀物等を生産する農業者への支援
東京の食料自給率の向上や遊休農地の発生防止にも資することから、小麦や大麦、菜種、大豆、飼料作物等を栽培する農業者に対し、必要な機械の導入や技術指導等の支援を強化すること。
8. 有害鳥獣対策の強化
有害鳥獣等の被害を防止するため、農業者や農業団体、自治体等が取り組む駆除や防護の取組を積極的に支援すること。
さらに、都市地域にあっても近年、有害鳥獣の増加が深刻化しており、農業生産はもとより都市住民の生活環境にも影響を及ぼしていることから有効な対策を早急に構築すること。
9. 農業委員会の組織体制の強化
担い手の確保や農地の利用最適化、都市農地の保全等に関して農業委員会が果たすべき役割は改正法が施行された後も引き続き非常に重要である。よって、国に対し農業委員会交付金の拡充を求めること。

常任会議員だより

第5回常任会議員会議

平成27年8月18日に開催し状況は次のとおり。

議事

農地法の規定に基づく知事諮問は、第4条2件872㎡、第5条5件2381㎡について審議し、許可相当と答申する旨決定した。

第6回常任会議員会議

平成27年9月17日に開催し状況は次のとおり。

議事

農地法の規定に基づく知事諮問は、第4条2件460・07㎡、第5条2件658㎡について審議し、許可相当と答申する旨決定した。

協議

①農業委員会活動推進フォーラム開催要領(案)を協議し、11月11日(水)に府中市生涯学習センターで開催することを決定した。

今年度は「都民生活に活きる東京の農業と農地の保全のために」農業に真剣に取り組む認定農業者と歩む農業委員会活動

「」をテーマとし、多数の参加をお願いすることとした。

②9月4日に公布された改正農業委員会法の概要と今後の対応について説明した。施行は平成28年4月1日、政省令は10月に公布される見込みとなっており、農業委員の任期満了の時期により、現行法適用の委員会と改正法が適用される委員会が生じるため、留意事項を周知することとした。併せて都農業会議の組織変更の概要を説明した。

③改正農地法について、従来の都農業会議への農地転用許可の諮問方法が大きく変更されること、農業生産法人の名称変更(「農地所有資格法人」)や要件緩和が行われることを説明し、農業委員会および関係機関との遺漏のない対応を図ることとした。

当面の農政問題では、平成28年度農林水産関係予算概算要求および税制改正要望の主要事項、国土利用計画における農業・農地の位置づけを説明した。

平成26年度東京都農作物
生産状況調査結果概要
(平成25年産)

都農業会議は、東京都の委託を受け、平成25年産の東京都農作物生産状況調査をとりまとめました。

本調査の実施にあたりましては、調査対象者各位はもとより、関係機関より多大なるご協力をいただきましたこと、あらためてお礼申し上げます。

ここで、調査の概要などを報告します。

【調査名】東京都農作物生産状況調査(平成25年産)

【調査対象区市町村】農地のある都内49区市町村(※北区を除く)

【調査対象者】農業経営面積10アール以上の農家。

【対象作物】野菜・花き・果樹・穀類・工芸作物・植木・グラウンドカバー

【調査項目】作付面積、出荷量、生産本数など

【調査状況】① 調査対象者 1万4千617戸 ② 調査回収 1万2千86戸(回収率約70・3%) ③ 有効回答 9千789戸(有効回答率約66・9%)

東京都農作物生産状況調査結果概要(平成25年産)

H27.9

区分	作付面積 (ha)	農業産出額 (百万円)	農業産出額順位(野菜・果樹・花き・工芸農作物の順位のみ掲載)				
			1位品目	2位品目	3位品目	4位品目	5位品目
目黒区	4.0	17	トマト	ぶどう	きゅうり	だいこん	こまつな
大田区	2.7	30	ハナモモ(切枝)	シクラメン(鉢もの)	こまつな	ほうれんそう	コチョウラン(鉢もの洋らん類)
中野区	4.6	25	トマト	カリフラワー	なす	えだまめ	きゅうり
世田谷区	171.1	390	花き類	トマト	こまつな	ぶどう	えだまめ
杉並区	54.7	322	トマト	なす	えだまめ	こまつな	きゅうり
板橋区	17.7	43	ぶどう	トマト	ばれいしょ	えだまめ	だいこん
練馬区	270.5	1,148	トマト	キャベツ	えだまめ	ぶどう	ブルーベリー
足立区	116.7	725	こまつな	えだまめ	ムラメ	トマト	きく(切花)
葛飾区	73.8	379	こまつな	えだまめ	トマト	ねぎ	さんとうさい
江戸川区	184.4	1,430	こまつな	トマト	えだまめ	しんとり	しゅんぎく
特別区計	900.2	4,509	こまつな	トマト	えだまめ	キャベツ	なす
青梅市	409.0	1,063	トマト	なす	ばれいしょ	ねぎ	ブルーベリー
福生市	8.3	42	トマト	なす	パンジー・ビオラ(苗もの)	かんしょ	ばれいしょ
あきる野市	307.7	1,051	トマト	なばな	なす	とうもろこし	ねぎ
羽村市	42.8	186	トマト	なす	パンジー・ビオラ(苗もの)	きゅうり	ねぎ
瑞穂町	166.5	798	トマト	なす	ねぎ	きゅうり	すいか
日の出町	84.0	286	トマト	なす	きゅうり	ばれいしょ	ねぎ
奥多摩町	34.7	200	わさび	トマト	みょうが	ばれいしょ	しいたけ
檜原村	32.0	134	みょうが	ばれいしょ	トマト	さくらそう(鉢もの)	シクラメン(鉢もの)
西多摩計	1,085.1	3,760	トマト	なす	ねぎ	ばれいしょ	きゅうり
八王子市	764.8	2,596	トマト	なす	こまつな	ほうれんそう	きゅうり
町田市	487.1	1,911	トマト	なす	こまつな	ほうれんそう	ブルーベリー
日野市	136.9	929	日本なし	トマト	ブルーベリー	ぶどう	なす
多摩市	33.1	133	トマト	ブルーベリー	なす	ばれいしょ	ねぎ
稲城市	132.3	1,277	日本なし	ぶどう	トマト	なす	かき
南多摩計	1,554.3	6,846	日本なし	トマト	なす	ブルーベリー	こまつな
立川市	347.3	1,107	トマト	ほうれんそう	ブロッコリー	日本なし	こまつな
武蔵野市	44.6	230	トマト	ぶどう	こまつな	日本なし	えだまめ
三鷹市	199.7	953	トマト	ぶどう	なす	キウイフルーツ	ブルーベリー
府中市	108.0	725	こまつな	日本なし	ブルーベリー	トマト	えだまめ
昭島市	54.7	284	日本なし	トマト	こまつな	なす	パンジー・ビオラ(苗もの)
調布市	157.5	721	トマト	ぶどう	こまつな	えだまめ	なす
小金井市	78.6	334	トマト	なす	こまつな	だいこん	ばれいしょ
小平市	226.8	1,017	日本なし	トマト	えだまめ	なす	ブルーベリー
東村山市	167.6	887	日本なし	トマト	ぶどう	かんしょ	なす
国分寺市	158.9	611	トマト	ブルーベリー	えだまめ	なす	うど
国立市	40.7	163	トマト	ほうれんそう	こまつな	なす	日本なし
西東京市	176.6	1,019	トマト	こまつな	キャベツ	日本なし	ほうれんそう
狛江市	39.1	191	トマト	えだまめ	なす	ブルーベリー	ねぎ
武蔵村山市	131.3	494	こまつな	ほうれんそう	トマト	日本なし	なす
東大和市	62.9	250	日本なし	トマト	なす	ほうれんそう	だいこん
清瀬市	233.3	958	ほうれんそう	にんじん	こまつな	トマト	みずな
東久留米市	200.5	850	ほうれんそう	トマト	こまつな	えだまめ	日本なし
北多摩計	2,428.1	10,794	トマト	日本なし	こまつな	ほうれんそう	なす
多摩地域計	5,067.5	21,401	トマト	日本なし	なす	こまつな	ほうれんそう
大島町	232.6	364	ババルディア(切花)	あしたば	ツバキ(実)	さやえんどう	ガーベラ(切花)
利島村	162.3	41	ツバキ(実)	しどけ	あしたば	-	-
新島村	23.0	108	あしたば	かんしょ	たまねぎ	レザーファン(切葉)	トマト
神津島村	17.5	110	あしたば	レザーファン(切葉)	パッションフルーツ	ミニトマト	さやえんどう
三宅村	41.7	254	あしたば	ドラセナ(切葉)	キキョウラン(球根切花)	サカキ(切枝)	ルスカス
御蔵島村	6.6	23	あしたば	エビネラン(鉢もの)	-	-	-
八文町	358.8	1,818	フェニックス・ロベレニー(切葉)	フリージア(球根切花)	フェニックス・ロベレニー(観葉鉢もの)	あしたば	ルスカス(切葉)
青ヶ島村	17.8	28	とうがらし	かんしょ	フェニックス・ロベレニー(切葉)	さといも	ばれいしょ
小笠原村	13.0	127	パッションフルーツ	ミニトマト	レモン	マンゴー	トマト
島しょ計	873.3	2,873	フェニックス・ロベレニー(切葉)	あしたば	フリージア(球根切花)	レザーファン(切葉)	フェニックス・ロベレニー(観葉鉢もの)
東京都計	6,841.0	28,783	トマト	こまつな	日本なし	なす	ほうれんそう

※ 植木と畜産は除く

※ 公式な数値結果は、今後、東京都より公表されます。

永年勤続表彰・講演会開く

東京都農業委員会職員研究会が全体研究集会開く

東京都農業委員会職員研究会（篠崎道明会長）は、8月28日にJA東京第1ビルにて、全体研究集会を開きました。

はじめに、第41回永年勤続表彰を行い、会員13名が表彰されました。（写真）

引き続き、農林水産省都市農業室の渡邊新一郎課長補佐より都市農業の情勢などについて記念講演が行われました。

表彰者は左記の13名です。

北村文孝（板橋区）▼武藤美紀子（足立区）▼高橋恭代（江戸川区）▼粕谷昇司（羽村市）▼浅沼亜紀子・板垣有美子・窪田靖子・黒



表彰を受ける国分寺市の榎本紘幸さん（右）

田良枝・毛塚佳之・溝口明（町田市）▼横田若草（府中市）▼榎本紘幸（国分寺市）▼道辻正信（東久留米市）（敬称略）



都市農業の情勢などについて講演する渡邊課長補佐

東京都へ「要望」の実現を要請

東京都農業経営者クラブ

都農業経営者クラブ（眞利子伊知郎会長）は8月24日、東京都に対する要請を行いました。

区市の農業経営者クラブ会長など役員らが都庁を訪問し、寺崎都農林水産部長に「東京農業の確立に関する要望」を手渡して実現を要請しました。

この要望は6月の通常総会において決定したもので、認定農業者に対する支援体制の強化やオリンピック・パラリンピック開催を見据えた都内産農産物の利用促

進などを求める内容です。要望書の内容を説明した後、都農林水産部の幹部らと地域農業をめぐる課題などについて意見交換を行いました。

国分寺市で認定農業者支援セミナー開く

8月20日、国分寺市のJA支店において認定農業者支援セミナーが開かれ、市内の認定農業者や青壮年部員など約40人が参加しました。

同市の農業経営改善支援チームとJA東京むさし国分寺地区青壮年部との共催により企画されたもので、都や市の支援施策が紹介されたほか、病害虫防除に関する講習が行われました。



行政の支援施策や病害虫の情報について説明を受ける参加者

クラブ役員からは都の補助事業や農業振興について具体的な要望が出され、活発に意見が交わされました。



要望書を受け取る寺崎部長（左）と眞利子会長

10月～11月の日程

- 10・9（金）経営部会長研究集会
- 10・19（月）改正農業委員会法に関する職員検討会
- 10・22（木）～10・23（金）会長現地研究会（名古屋市）
- 10・29（木）～10・30（金）東日本ブロック農委会職員現地研究
- 11・11（水）農委活動フォーラム
- 11・16（月）監査会
- 11・17（火）賛助員協議会
- 11・30（月）島しょ職員検討会
- 11・27（金）農業者年金制度研究
- 11・30（月）島しょ職員検討会

「食と農セミナー」を開きます

都農業経営者クラブと都農業会議は、東京の農業者と消費者が共に学び新たな関係を築く場とするため、都消費者月間実行委員会と共催で「食と農セミナー」を開催します。

日時 平成27年12月2日（水）、午後2時より

会場 中野区・中野サン

都農業経営者クラブと都農業会議は、東京の農業者と消費者が共に学び新たな関係を築く場とするため、都消費者月間実行委員会と共催で「食と農セミナー」を開催します。

参加を希望される方は区市町村の農業委員会事務局へお申し込みください。